

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	大井保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成28年12月22日

総 評	<p>大井保育園は亀岡市の西北部に位置し、田園など豊かな自然に囲まれた地域にあります。母体となる、社会福祉法人 徳雲福祉会は定員180名の大井保育園のほかにきょうだい園である千代川保育園（定員190名）、並河駅前の分園（定員25名）、さらに子育てサポート事業、出前保育、一時預り、学童保育、休日保育、延長保育、病後児保育、子育て広場など、質と量の充実した事業を展開しています。</p> <p>「人と自然に優しく、こころ豊かに」をモットーに保育目標（めざす児童のすがた） I 丈夫 で生命の 大切さを知る児童 I 友達と仲良くできる児童 I 善し悪しを知り、他人に親切な児童 I 正しい言葉を使い、挨拶のできる児童 I 豊かな心を持ち、ありがたいと言える児童の育成と「保護者が安心して社会貢献に努められる」ための支援を行っています。</p> <p>写真を活用して掲示されている毎日の保育の内容は、保育を透明化、見える化することにより、子どもを真ん中に保護者と保育者がつながるツールとして、また、保育のねらいや子どもの活動の意味を伝え、分かち合うツールとして機能しています。さらに「おしらせ表」を通して、保護者に子どもたちの成長を定期的に伝える取り組みを通して子育ての喜びの共有に努めています。</p> <p>管理者のリーダーシップのもと、保育の質と職員間のチームワークが両立する職場作りを目指しています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 玄関に保育課程や保育のドキュメンテーション(写真を利用した掲示)を掲示し、保護者が保育課程や指導計画をより理解しやすいような工夫を行っています。 ● サービスの質の確保について、利用者の状況等に関する情報を、毎日のミーティング、毎月の研修会議で共有し、指導計画や発達経過記録などに反映させています。また、それらの記録を、パソコンを活用した園運営システムで行うことで職員間の周知に役立てています。 ● 給食の食材は、献立表に産地が記載されており、また、子どもと同じ食器で保護者が給食を食べる機会を設けています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の研修には積極的に取り組まれています。その後の評価・分析があればなお良いでしょう。 ● 今回で3回目の第三者評価の受診となります。評価結果について職員参画のもと分析・検討がなされ事業内容の更なる改善に役立てるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

【保育所版】 評価結果対比シート

受診施設名	大井保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成28年12月22日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-2 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	B	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

- ・ 保育理念・園目標は、パンフレットやホームページ等を利用して広く公開しています。
- ・ 保育理念や保育方針・保育目標は、玄関ホールや各保育室に掲示しています。
- ・ 保護者に対しては、入園やクラス懇談会で説明しているほか、玄関に保育課程や保育のドキュメンテーション（写真を利用した掲示）を掲示し、保育課程や指導計画をより理解しやすいような工夫を行っています。
- ・ 保育課程の編成に関しては、年に1回保護者アンケートを行うことで保護者の意向を把握し、保育課程の編成に繋げています。
- ・ 指導計画の評価については、運営管理ソフト「こどもーしょん」を活用して定期的に行うと共に、月に1回月例職員会議を行い、当月の指導計画についての評価・反省と翌月の計画についての話し合いが行われています。
- ・ 保育課程の編成・見直しについては、月例職員会議において全職員が参画して行っています。
- ・ 管理者は、保護者アンケートや職員面談を行うことで、必要であれば環境を改善するなど保護者や職員からの評価を常に検証しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-1(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-1(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
	II-2-2(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-3(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
II-2-4(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-1(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-3-2(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

【自由記述欄】

- ・プランに基づいた人事管理として、幼稚園教諭免許を持たない職員への取得推進のための研修費補助などを計画的に実施しています。
- ・園長は、市内の園長会等で、保育制度問題や子育て環境の情報を集めるなど、事業経営をとりまく環境を把握しています。
- ・園長は、職員と年1回個別面接の機会を設け、職員の就業状況や意向を把握するように努めています。また、京都府民間社会福祉施設職員共済会へ加入するなど、福利厚生に努めています。
- ・職員が仕事で悩みがあれば、主任等にすぐに相談できる体制を整備しており、働きやすい職場環境作りを徹底しています。
- ・月例職員研修を月1回実施しており、職員の質向上に積極的に取り組んでいます。
- ・実習生やボランティアの受け入れについては、マニュアル等を作成し積極的に実施しています。
- ・職員の個別研修計画が人事考課の中に組み込まれており、計画に沿った研修を実施しています。研修を修了した職員は報告レポートの作成や研修発表等を行っています。今後は、研修成果の分析・評価を行い人事考課に反映されるとなおります。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-1 (2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 定期的な第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1 (1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的な自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
		② 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
	Ⅲ-2-1 (2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		② 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
		③ 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-1 (1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A
② 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。			A	A
Ⅲ-3-1 (2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		①	A	A

[自由記述欄]

・今回で3回目の第三者評価の受診となります。評価結果について職員参画のもと分析・検討がなされ事業内容の更なる改善に役立てるとなおります。

・サービスの質の向上に向けた取り組みとして、定期的な自己評価を月間指導計画内の「翌月への配慮事項」「保育士の課題・保育方法への考察」として記録するとともに、月例研修会議でも保育内容の振り返りを行っています。また、年度の終わりに、全職員を対象とした自己評価と次年度の個人研修計画を作成し目標をもって職員の育成に取り組んでいます。

・サービスの質の確保について、利用者の状況等に関する情報を、毎日のミーティング、毎月の研修会議で共有し、指導計画や発達経過記録などに反映しています。また、それらの記録をICTを活用した園運営システムで行うことで職員間の周知に役立っています。

・サービスの継続性への配慮として、子どもの成長の所感を保護者と保育者が互いに報告しあう「おしらせひょう」を用いた記録を毎月行っています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	B	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	B	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	B	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかわかれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

【自由記述欄】

- ・ 内科健診と歯科健診は年に2回実施し、結果を所定の記録用紙に記入し保護者に知らせると共に、職員にも伝えて情報を共有しています。
- ・ 健診結果に気になることがあれば保護者に受診を依頼したり、毎日、全園児の検温を行い記録をするなど子どもの健康状態に十分気を付けています。
- ・ 感染症対応はマニュアルに基づき対応しています。また、感染症発生時は人数や年齢など発生状態を園内と送迎バスにも掲示し、保護者への周知に努めています。
- ・ 給食の食材は、献立表に産地を記載しており、また、子どもと同じ食器で保護者が給食を食べる機会を設けています。
- ・ アレルギー児には医師からの指示書のもと適切な対応が行われ、食器の色を変えたり、イスにリボンをつけたりするなど、誤食防止への配慮をしています。
- ・ 子どもが好きな遊具や玩具を選んで遊べるコーナーを用意しています。
- ・ 生活発表会の合奏では、子どもが好きな楽器を選んでいきます。
- ・ 保護者参加の人権研修が毎年あり、子どもには生活や行事の中でお互いを尊重する心が育つような話をしています。
- ・ 長時間保育（16時30分以降）では、おやつを提供しています。
- ・ 保護者に発達障害の勉強会の案内を配布したり、講演会の掲示をしたり情報を伝えていきます。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・入園児童の保護者の育児支援として、保護者との日常的な情報交換を通して得た保育に必要な情報を、パソコンで管理する園運営システムに記録し、入園から卒園までの継続的な育児支援に活用しています。

・子どもの発達や育児についての保護者との話し合いや共通理解を得るための取り組みとして、年1回のクラス懇談、年2回の個別懇談を行っています。また、保育参観日には保護者が遊びを通して保育に参加する機会を設けています。

・子どもの発達記録、ケア記録、保育要録など保育に必要な記録を、パソコンで管理する園運営システムで行い、入園から現在までの子どもの発達、保育目標、生活状況などを振り返りながら、指導計画や保育要録の編成を行っています。

・健康診断後の嘱託医との懇談、民生委員・児童委員を園の行事に招く、地域の行事に職員が参加するなど交流の機会を設けるとともに、小学校との連絡会にも積極的に参加しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

・食中毒に対応するマニュアルについては定期的に見直しを実施しています。

・事故防止についてヒヤリハットマップや事故受付票を活用して記録するとともに、毎日昼に行っているミーティングで事故・ヒヤリハットの発生状況とその対応策についての情報共有を行い職員研修の機会にもしており、事故防止に努めています。また、遊具安全管理の認証資格を取得した職員もいるなど、安全管理についての職員研修も行っていきます。